

# ひまわり

ひまわり 第23号  
2012年1月31日発行  
〒861-1115  
熊本県合志市豊岡 2000-1653  
社会福祉法人 共生福祉会  
電話 096-248-7273  
FAX 096-248-7274  
発行責任者  
理事長 立山 文一  
制作 サンシャインワークスプロジェクトチーム

2012年明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひいたします。



2012年の初めに当たり、法人事業所の課長・主任で新しい年にかける抱負を語り合いました。

岡崎 誠子(施設長)  
佐藤 由美子(生活支援事業課長)  
艶島 真(就労支援事業課長)  
小野 郁子(移行型事業サンライズ主任)  
中村 宏子(B型事業すてっぷはうす主任)  
塚本 嘉郎(A型事業サンシャインワークス主任)



建設中の生活訓練棟（1月30日）

岡崎:2011年は日本が経験したことのない未曾有の災害、東日本大震災と地震津波による原発事故が起こりました。被災地の皆様は大変困難な生活を余儀なくされておられます。復興へはまだまだ長い道のりがありますが、私たちは微力ながらもできることを応援していきたいと思います。私たちは幸いにも震災の影響はほとんど受けずに暮らすことが出来ています。幸運な境遇で活動できることに感謝しながら、新年の抱負を語ってもらいたいと思います。

まず、2011年を振り返っての感想と、2012年の抱負をお願いします。

艶島:2011年は新しい事業(生活訓練・風見鶏)の立ち上げ準備やA型・B型・移行型での新しい仕事の導入など忙しいながらも充実した一年でした。2012年はまずは「風見鶏」で皆さんのが楽しく元気に活動できるように頑張ります。また他の事業を利用される皆さんがそれぞれの場で一人一人が笑顔で毎日を過ごせるように色々と取り組んで行きたいと思います。

小野:4月から8名の入所があり、14名の大所帯となったサンライズ。高校を卒業されたばかりの方々の若いパワーで元気いっぱい、笑顔いっぱいのにぎやかな一年でした。就職活動として、一般企業へ2名、A型事業所へ1名と社会への巣立ちがありました。

また、一般企業へはもちろん、熊本県のインターンシップや職業訓練校の委託訓練など、新しい実習も試み、経験を自信につなげることができました。来たる4月には、慣れ親しんだ菊陽町の事業所から、本部隣へ引っ越しをします。新しい作業所でたくさんの事を経験し、もっと多くの仲間と交流を持ちたいと、今から心待ちにしています。利用終了時期を前に、いよいよ具体的な就職活動に取り組む方が多くなります。適性を見極め、保護者とより連携を取りながら、進路を決めていきたいと思います。作業訓練では、新しい様々な「お仕事」を請け負うようになりました。作り上げていく喜びや責任を感じ、社会人になるための準備に役立てたいと張り切っています。

中村: 楽しい一年でした。余暇活動や夏祭り、一日旅行、何をやるにも一生懸命、全力投球の利用者の皆さんと楽しく有意義な日々を過ごしました。作業の方も新しいことに挑戦し、充実していた一年でした。昨年同様すべてつながる皆さんが楽しく活動できるよう、たくさんのメニューを準備したいと思います。「明るく楽しく美しく」が今年の目標です。

塚本: 昨年のサンシャインワークスの仕事としてはグリーンコープ様より7月からひろしま帳合作業と10月から福岡の筑後支部の帳合作業を委託いただき、ありがたいことに忙しい一年を過ごすことができました。従業員の皆さんには残業が続く日もありましたが、納期を守るためにしっかりと頑張ってくれました。2012年は昨年達成できなかったノーミス記録達成を更新しようと思います。そのためには一人一人に目が行き届いた支援ができるように支援チーム一丸となって改善点やムダ・ムリ・ムラの排除に取り組んでいきます。また、事故やケガも昨年はでてしましましたので、今年はゼロを目指し安全面にも心がけていきます。

佐藤: 若い利用者が増え、今年早々4人の成人式を祝うことができました。グループホーム初めてのことでの大変嬉しいスタートでした。一人一人が小さなことでもできることを増やし、楽しみを増やし、色々な体験をしながら共同生活を送っていってほしいものです。利用者の中には今年頑張って運転免許を取りたい人、仕事を覚え新しいものにチャレンジしようと思っている人、いつか一人暮らしをするために食事作りに興味を持ち始めた人など、夢にむかいい歩一歩歩き始めています。

岡崎: ありがとうございました。新事業の起ち上げが、24年度最大の目標ですね。既設事業も新事業に刺激を受けることもあるでしょうし、又、先輩事業としてお手本を示して、リードして行ってもらいたいと思います。では、もう一言ずつ、事業所PRをお願いします。

艶島: 生活訓練事業「風見鶏」は、就労の一歩手前の方が、次のステージに向けて楽しく活動する場所です。訓練を通して少しづつ成長し、ステップアップできるようにたくさんの活動メニューを準備しています。

小野: 就労移行支援「サンライズ」は、平成18年10月からスタートし、5年が経過しようとしています。これまで、25名の修了生の中、一般企業へ11名、A型事業所へ6名と、約7割の方を「社会」へおくりだしました。この高い就職率は、利用者の皆さんのがんばりと、企業のご理解、多くのネットワーク、そして、保護者の皆さんと支援者のチームワークだと自負しています。

また、作業訓練や座学、余暇活動などたくさんのプログラムを用意しています。得意な分野を探し、伸ばしていき、就職へつなげていきます。

中村: 私たち就労継続支援事業B型「つながる」の皆さんには大変明るく、何事にも一生懸命です。朝から大きな声で歌いラジオ体操をして元気に一日の活動を開始します。作業も大好きですが、それ以上にカラオケ、茶話会、ウォーキング、陶芸などのときは最高に幸せです。これからも色々な活動を楽しみにしたいと思っています。

塚本: 就労継続支援事業A型「サンシャインワークス」では、夏祭りや忘年会、社員旅行など季節ごとの行事を取り入れ、仕事だけではなく皆で楽しむことも大切にしています。仕事では社会人としての自立を第一に働く上の厳しさや感謝する心を大切にしています。

佐藤: 私達支援者は一人一人にふさわしい落ち着いた生活が送れるように見守って行こうと思います。今、2部屋空いています。いつでも見学においでください。

艶島: 一年間、健康で元気に活動できるよう一緒にがんばりましょう。

岡崎: 事業をリードしていく立場の皆さんとの言葉・気構えに大変力強さを感じました。職員、利用者一体となって前進していきましょう。

# 行事報告

## 平成 23 年 10 月 1~2 日 サンシャインワークス社員旅行(大阪)

今回の社員旅行はみんなで大阪に行ってきました。新幹線移動ということもあり、出発前からとてもウキウキした様子でした。大阪ではまず通天閣からの絶景を見て、夕方は吉本新喜劇を見て笑い転げ楽しみました。

ホテルで忘年会をした後は、夜の道頓堀を散策しました。週末の夜とあって大変な賑わいでした。迷子になる人もいるなくホッとした。有名なグリコのネオンやかに道楽の動くかにを見るとテンションあがりますね！翌日は海遊館でジンベイザメを見たりして、クルージングを楽しみました。たこ焼きの食べ過ぎで体重が増えた人もいるかもしれないくらい、みなさんご馳走を口いっぱいにほおばっていました。(内田)



## 平成 23 年 10 月 21 日 すてっぷはうす & サンライズ 旅行(天草)

今年も、またこの季節がやってきました！1年に1回の楽しみな行事である日帰り旅行。

船に乗って見上げる天草五橋は、普段とは違う角度からの迫力の光景でした。中には、外のデッキで気持ちのよい海風にあたりながら、穏やかな天草松島の島々を堪能されていました。

続いて、わくわく海中水族館・シードナツでは、近海の海に生息する魚たちを見て楽しみました。中には集合時間に間に合わないくらい夢中になる方々もいらっしゃいました。最後にお楽しみの買い物では、藍のあまくさ村に立ち寄りました。おやつを食べたり、沢山のお土産を買ったりと大満足の皆さんでした。

皆さん、一日楽しくてはしゃぎすぎたようで、帰りのバスの中ではほとんどの方がぐっすりと眠っていました。

来年は、どこへ行こうかと今からとても楽しみです。(砂川)



## 平成 23 年 12 月 10 日 忘年会

今回で2回目となりました合同忘年会。今年もユウベルホテル(旧名 菊南温泉ホテル)に皆さんおしゃれな装いで集まりました。円卓料理で初めはグループで食事をしていましたが、最後にはホール中皆さん行き交い、多くの人と交流ができていたようです。私自身も普段お話しすることができない他事業所の方や保護者の方々とお話しする機会ができてよかったです。また来年もしたいなと思う忘年会となりました。(塚本)



## 平成 23 年 12 月 19 日 上棟式(餅投げ)

平成 24 年 4 月に開設する生活訓練棟の上棟式が行われました。餅投げという昔からの風習が少なくなる中、貴重な体験ができたことと、全事業所の利用者さん・職員全員そろって参加できることをうれしく思いました。紅白の餅やお菓子が飛んでくると大歓声が沸きました。両ポケットいっぱいに拾われた方もいました。

施設の名前も「風見鶏(かざみどり)」と決まり、どのような風が吹いても利用者さん達が自分の進むべき道を見つけ、進んでいけるようにお手伝いができる施設にしたいなと思いました。(森本)



## すべてはうすの創作活動

すべてはうすでは、季節に合ったイベントやお誕生日会を開催しています。クリスマス会ではおいしいケーキをいただきました。1月のお誕生日会ではカステラのラスクと焼バナナを作りましたよ＼(^o^)／おいしかった♪  
2月は節分、3月はひな祭り、毎月楽しい活動を取り入れています。



## 平成 24 年 1 月 9 日 成人式

今年、全国の新成人の人数は 122 万人(男性 62 万人、女性 60 万人)。当法人の利用者の方で 5 名の方が新成人となられました。若くてフレッシュなパワーに、周りも元気づけられます。5 名の方から抱負や目標をいただきました。夢に向かって頑張ってください。おめでとうございます＼(^o^)／

### 井 祐太郎さん

今はハローワークで仕事をしていますが、今度仕事をする時には人とコミュニケーションができ、楽しく自分に合った仕事などやりたいと思いました。



### 木戸 義貴さん

車の免許を合格するようにがんばります。受かったら車を買うためにお金を稼ぎたいと思います。

### 豊田 航太さん

自動車免許を取ったので無事故無違反を目指します。

あと、マイカーを買うためもっとお金を貯めて、もっと仕事を頑張ります。

### 長尾 太貴さん

昨年はケガばかりしていましたので、何事にも安全第一を目指したいです。

### 吉田 繕悠貴さん

私のこれから目標は独り立ちをし、彼女を見つけ結婚し、家族を作ることが私の目標です。成人のプレゼントありがとうございます。



利用者の写真掲載につきましては、本人の了解を得て掲載しております。  
また、本人の希望によりぼかしている箇所があります。

## 県大会で金メダル、全国大会で銀メダルおめでとう！

永野達さん（サンシャインワークス）が、5月に行われた熊本県障がい者スポーツ大会のボーリング部門で優勝され、10月に山口県で開催された全国大会に出場されました。結果は見事銀メダルを受賞されました。おめでとうございます！



昨年10月に初めて全国大会に出場しました。あまり緊張していなかったのですが、うまく攻略できずに大会が終わってしまいました。攻略できなかつたなかで銀メダル獲得できたのは嬉しかったです。今年も機会があれば金メダルを目指して全国大会へ挑みたいなと思っています。

## 災害ボランティア活動報告

事務 大津美和

忘れもしない3.11。自分に何ができるだろうと思い悩んだ末、震災から約7ヶ月後の10月7日から4日間、宮城県気仙沼大島へがれき撤去のボランティアに行きました。大島は米軍が救援活動（トモダチ作戦）を行ったとして大きく報道された島です。気仙沼港からフェリーで上陸し、大島の災害対策本部長、白幡さんから話を聞くことが出来ました。「津波で島が分断され、船が流され孤立した。震災から1週間、情報が何も入らなかった。夜に煙が漂ってきて、気仙沼市が燃えているのを見て、日本はどうなったんだろうと愕然とした。重油が引火して大島も火災になって、年寄と子供たちが走り回って鎮火した。水がなくて、プールの水を飲んだ。米軍が救援に来たとき、なぜ日本人がこないのだろうと絶望した。私たちは、何も知らなかった。帰る家なんかないのに、島民は家や家族を探して気が狂ったように街をさまよった」と聞き、報道では伝わってこなかった事実、被災地の皆さんがどれだけ過酷な状況で過ごされているのかを知りました。

がれき撤去作業は、体力は勿論のこと、気力が必要でした。地盤沈下で水が引かず、油の浮いた田んぼの中には様々なものが埋まっていました。私は、子供が映った写真を見つけましたが、変色していてゴミと分別されました。そんな中、奇跡のようにまったく汚れていない卒業証書が見つかりました。ボランティアのみんなが喜んで地元の人へ渡したら、「その家族はもういません」とあっさりゴミに分別されました。下を向けばがれきだらけの地面、顔を上げれば破壊された家々が目に飛び込み、私は何度も泣いて座り込んでいました。そんな私に地元の人が駆け寄ってこられ、「ここで泣かないでください。震災直後は家や車や船や家電があたり一面にあって、人も流された。これでも良くなつたんです。ここで頑張るしかないんです。」と語られ、地元の人しか入れない場所へ連れて行ってくれました。そこは、被災者の大切な家財道具を「がれき」として処理する分別所でした。衣類の山、家電の山、畳の山、布団の山、書籍の山、ランドセルや学用品の山。元の美しい島に戻るために、生きるために、被災地の人たちは毎日「がれき」と戦っています。その「がれき」はいくつもの山となって今もまだ、海岸沿いで処分される日を待っています。

活動を終え、ボランティアとしての心構えや配慮が足りなかつた自分に悶々としながら帰途に着きました。熊本空港に着いて、田んぼで揺れる稻穂を見たとき、帰る家があることがどれほど幸せなことかを実感し、涙がとまりませんでした。想像を絶する大災害。あの状況で、強く、優しく生きる大島の人たちに出会い、私にできることを改めて考え直しました。被災地では、長期的な支援を必要としています。私は、何度も大島へ行って活動し、復興していく姿を大島の人たちと一緒に喜び、「絆」を深め合って共に生きていきたいと考えています。



## 助成・寄付・寄贈のお礼

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様より助成を受けることができ、悲願であった下水道(水洗トイレ)が実現します。全施設のトイレがウォシュレット付温便座になり快適に過ごすことができます。現在トイレ改修工事が始まっています。本当にありがとうございます。

年末には、当法人評議員の廣野様より、新米をいただきました。給食に出されるご飯としてふるまい、ピカピカ、ツヤツヤで甘いお米を味わっていただきました。また、工房 松山さまより門松をいただきました。サンシャインワークス正面玄関、すてっぷはうす入口、黒石原荘玄関の3か所に設置し、新年を迎えることができました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

### (助成)

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様

(寄付・寄贈)

廣野 立一様 松山 茂行様 坂本 久美様

よいしょの会様 後藤 一俊様 小川 晴夫様



## ご報告

施設内に赤い羽根共同募金箱を設置し、職員と利用者の善意を寄せていただきました。総額 16,440 円を共同募金会様に募金いたしましたことを、ご報告いたします。



## これからのスケジュール

- 2月 15日 横山看護師の健康相談(A型)
- 2月 22日 横山看護師の健康相談(B型・サンライズ)
- 3月 14日 横山看護師の健康相談(A型)
- 3月 28日 横山看護師の健康相談(B型・サンライズ)
- 4月 2日 創立記念日・入社式・お花見
- 4月 11日 横山看護師の健康相談(A型)
- 4月 23日 生活訓練事業 落成記念式(予定)
- 4月 25日 横山看護師の健康相談(B型・サンライズ)

## サンシャインワークス利用者さん紹介

大原遊さん

(勤続年数 8年4ヶ月)



入社して8年が経ちました。仕事はミスのないように、積極的に取り組みたいです。

木戸義貴さん

(勤続年数 1年10ヶ月)



仕事の内容に慣れてきたのでとても嬉しいです。入社したての時はとても緊張しました。みんながいたので僕はここまできました。

## 新人さん紹介(10/1~1/31)

よろしくお願いします(\*^\_^\*)

職員 三池 仁美さん

すてっぷはうす 寺岡 美砂さん



## 編集後記

昨年は東日本大震災があり、多くの尊い命が失われました。私は、もっと一日一日を感謝して大切に生きようと思いました。仕事においても、一人一人にあった支援を考えていけたらと思います。今年もサンシャインワークスをどうぞよろしくお願ひいたします。(宮川)